平成30年度　全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立　　田原　　小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。
本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。
※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

１．調査の目的

⑴　子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

⑵　各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

⑶　各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

２．調査内容

⑴　実技に関する調査

［8種目］　握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

⑵　質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

＜男子＞

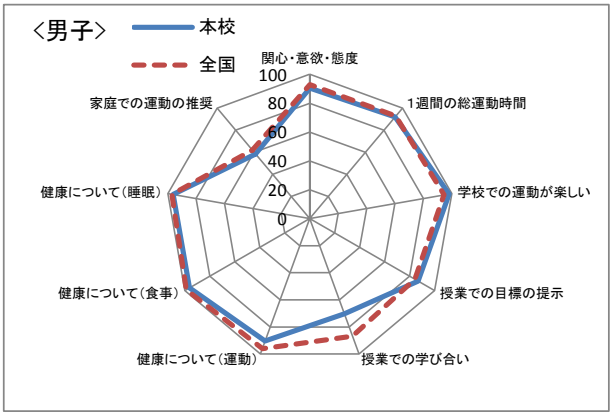
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23
本校全国平均以上の種目	○		○		○			○	○

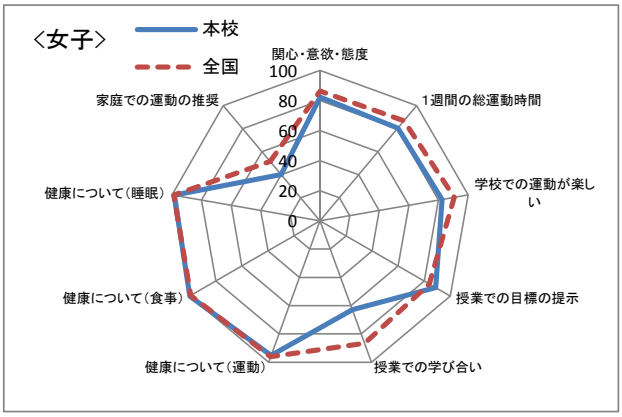
＜女子＞

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64
本校全国平均以上の種目	○								

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート





質問紙調査の結果分析
体育の授業は楽しいと回答した児童は、男子が全国平均を上回っているが、女子は全国平均を10ポイント近く下回っている。学校でも、日頃から体力向上や運動習慣の奨励を行い、成功体験をより多く積み重ねることによって、授業の楽しさを体感できるようにしていく。また、授業での学び合いのポイントが男女とも全国平均をかなり下回っていることから、授業中の作戦会議などを必ず取り入れることで、話し合おうとする意識が向上していくよう継続して取り組んでいく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

体力テストの結果から、課題として残った敏捷性や、体幹の力強さを伸ばすためにも、授業でジャンプアップ運動や縄跳び運動に継続して取り組む。また、体育科の授業において、毎時間の目標を持って運動に取り組むことができるようにする。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

本年度も体力テストの結果をスポコン広場に登録して、個人の体力シートを作成し、保護者に配布する。
ランニングタイムを次年度も継続して行う。年間で何周走れるか等、目標を持って自己記録を伸ばす取組をする。
反復横とびのラインを常設し、空き時間を利用して取り組むことができるようにしていく。